

低山から大迫力の富士山を眺める  
丸岳（乙女峠～湖尻水門）

実施日 2020年2月9日（日）  
 天候 晴れ  
 リーダー 白石 恵美子  
 参加者 若村勝昭、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、峯川弘子、佐藤聡美、G(片野三成) 計12名  
 費用 電車 2,102円（新宿駅起算）  
 バス 2,090円 計4,192円  
 タイム 箱根湯本駅(9:00)乙女口BS(9:27~9:40)乙女峠(10:33~10:49)昼食休み(11:30~11:50)丸岳(12:07~12:31)長尾峠(13:22)富士見ヶ丘公園(14:29~14:40)湖尻水門分岐(15:01)湖尻水門(15:44)桃源台BS(16:04~16:20)小田原駅(18:00)



乙女口BSから、向進の進行方、向進の少し「乙女峠」への進む。番にほんの少しの標識。乙女峠に右側の進む。番にこの急登(?)。

ゆっくり歩いて50分ほどで乙女峠に到着。木で組んだ低い見晴台があり、富士山が目の前に堂々と聳える。寒いので、集合写真を撮り、金時山とは反対方向の丸岳へと向かう。

緩やかな登りだ。昨夜降ったらしい雪が少し残っているがアイゼンを着けるほどではない。丸岳山頂は風が寒そうとの参加者の意見により、手前の陽当たりのよい、風の少ないところで昼食にする。



その後、少し歩いたら丸岳山頂に到着。脇には丸岳無線中継塔が聳えている。山頂は広くベンチとテーブルもあり、風がなければ昼食には最適だろう。展望も抜群で、芦ノ湖、大涌谷、仙石原、ゴルフ場などが一望

きる。ジオラマのようだ。



正面に見える山の名前をスキャンして、このように先輩は「これだよ」と紙の地図からあれは「山」と宣言。やはり、紙の地図が一番と実感する。

丸岳からはパノラマが広がる。尾根快歩。駿河湾を見下ろしながらの富士山が見えるのはここだけ。芦ノ湖が見ると説明の通り富士山と芦ノ湖が見える。同時に無理だが。更に進むと、湖尻峠と仙石原の分岐となる長尾峠。左片隅に古ぼけた標識があるが、目立たない。眺望も何もないの少し素通り。長尾峠の少し先

の出し、方角と現在地からあれは「山」と宣言。やはり、紙の地図が一番と実感する。丸岳からはパノラマが広がる。尾根快歩。駿河湾を見下ろしながらの富士山が見えるのはここだけ。芦ノ湖が見ると説明の通り富士山と芦ノ湖が見える。同時に無理だが。更に進むと、湖尻峠と仙石原の分岐となる長尾峠。左片隅に古ぼけた標識があるが、目立たない。眺望も何もないの少し素通り。長尾峠の少し先



見ヶ丘公園だ。ここは富士山がドーンと目の前に見え、圧巻。

遥か遠くに、うっすらと雪を被った北岳、間ノ岳、農取岳なども一望できる。

更に進むと湖尻水門への分岐。ここからの下りは急で、岩ゴロゴロで少々歩きにくい。40分強で湖尻水門に到着。そこから芦ノ湖キャンプ場を横目で見ながら今日のゴール、桃源台へ。

帰りのバスは渋滞で大分遅れた。やはり週末は混むようだ。心配した雪も凍結も泥んこも大したことなく、アイゼンの出番もなく、無事下山でき、良かった。キャッチコピー通り、富士山が素晴らしかった。天気良ければすべて良し！参加して下さった皆様ありがとうございました。

またご一緒によろしくお願ひします！

(記・白石 恵美子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)